

ネットワークに接続できない設備の遠隔報知

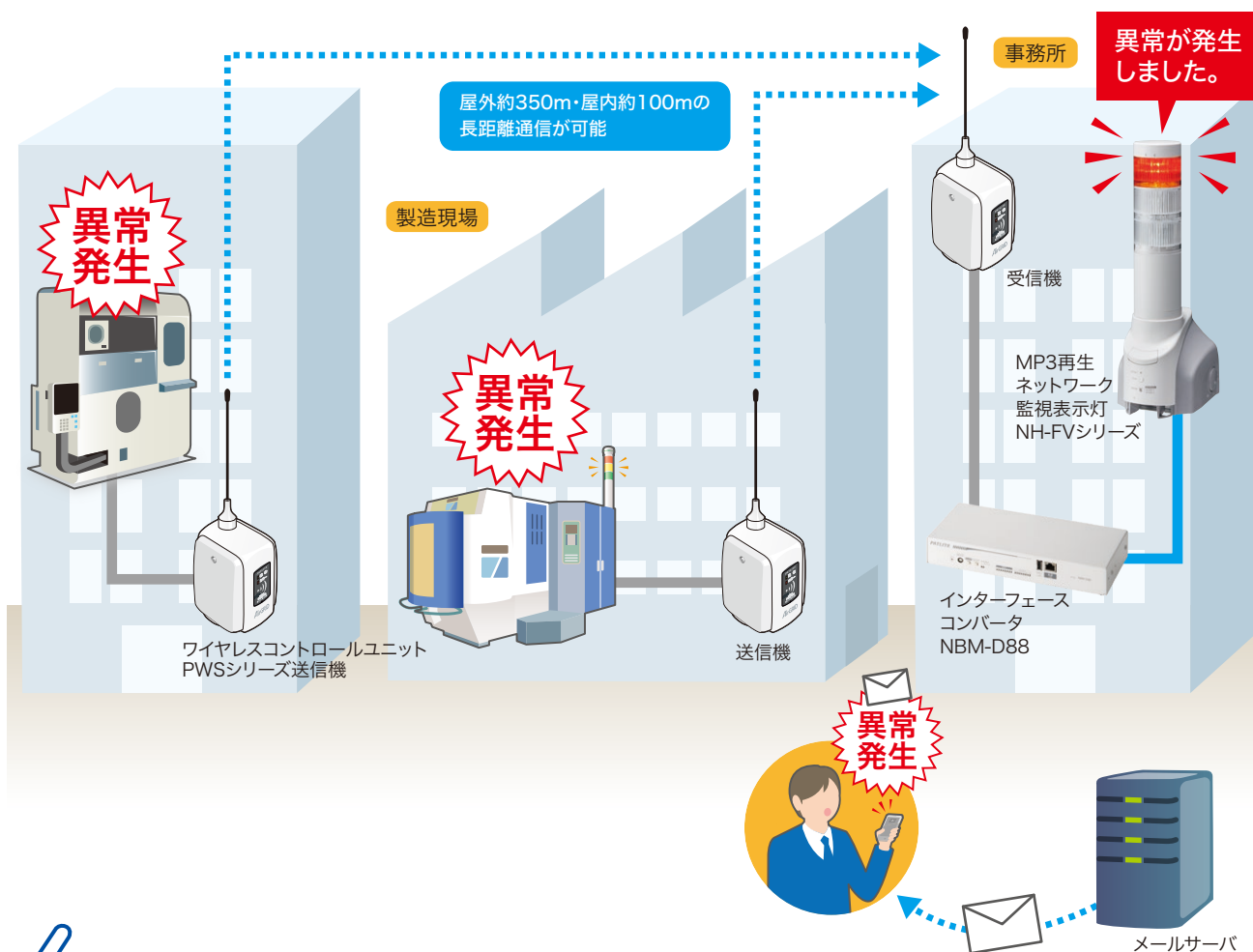
Before

ネットワークに接続できない設備は定期的な巡回が必要であり、異常発生しても気づかず、生産に遅れが生じる可能性がある。また、新しくネットワーク環境を整備するにもコストがかかりすぎるため難しい。

After

無線機器とインターフェースコンバータの組み合わせにより、簡単に異常発生をネットワークを経由してお知らせ。パトライト製品の設定のみで簡単に離れた場所へ知らせることが可能です。リアルタイムなお知らせで、迅速な対応を支援し、ダウンタイムを削減します。

How To



設定事例①「ネットワークに接続できない」

https://www.patlite.co.jp/support/pdf/NBM_NH-Setting1.pdf



※ 機器設定にはPCが必要です。
※ メールサーバなどネットワーク環境はお客様のご用意が必要です。

設定手順①「ネットワークに接続できない設備の遠隔報知」

NBM-D88N:TRAP送信・メール送信・デジタル入力設定

NHL-3FV2-RYG:IPアドレス変更・TRAP受信設定

■ 概要

ワイヤレスコントロールユニット PWSからの接点信号 'OFF' と 'ON' を
インターフェースコンバーター NBMへ入力し

接点 'OFF' は、設備動作中として、ネットワーク監視表示灯 NH-FV '緑' 点灯

接点 'ON' は、設備停止として、'赤' 点灯+'緑' 消灯 させ、
特定のアドレスにメール送信を行う。

■ 設定内容

● NBM型設定

Step1:Web設定画面ログイン

Step2:動作設定・SNMP設定

Step3:メール送信設定・メール送信内容設定

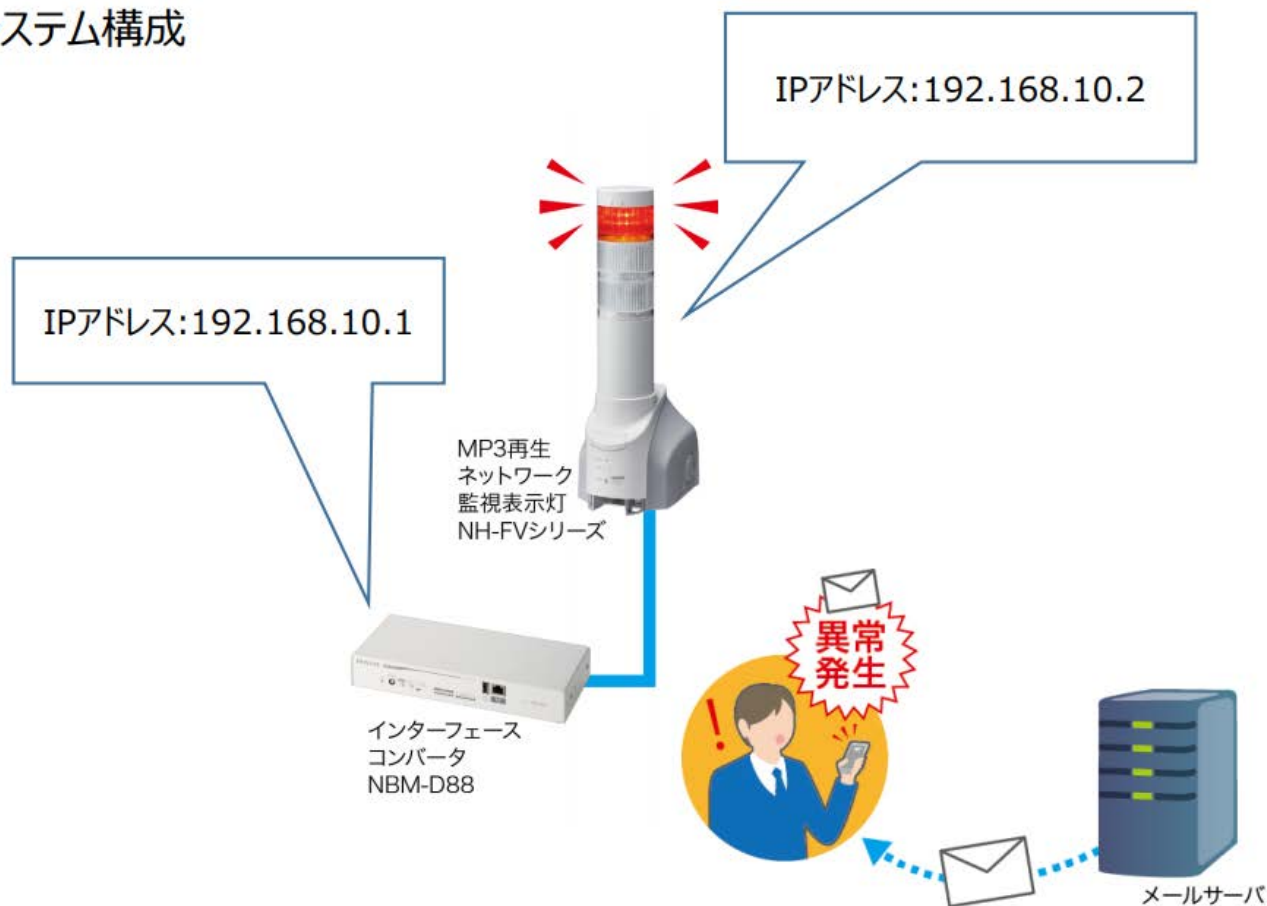
Step4:デジタル入力設定(ON-OFF状態時の動作設定)

● NH-FV型設定

Step5:Web設定画面ログイン・IPアドレス変更

Step6:TRAP受信設定

■ システム構成



■ Step1 NBM型のWeb設定画面にログインします。



初期IPアドレス:「192.168.10.1」
を入力

初期パスワード「patlite」を入力



■ Step2 「NBM-D88N」の動作設定を行います。

TRAP送信設定をするため

セットアップ「SNMP設定」をクリックします。

The logo for PATLITE, featuring the word "PATLITE" in a stylized, italicized red font. It is positioned on the left side of a horizontal bar that has a white background on the left and a blue background on the right.

➡ セットアップ項目

⋮ システム設定

⋮ ユーザ認証設定

⋮ 時刻設定

⋮ **SNMP設定**

⋮ メール送信設定

⋮ メール内容設定

⋮ RSHコマンド送信設定

⋮ RSHコマンド受信設定

⋮ ソケット送信設定

⋮ ソケット受信設定

「SNMP設定」をクリック

➡ 動作設定項目

➡ 本体操作項目

➡ 保守機能項目

➡ 情報参照項目

ログアウト

●NBM型 TRAP送信を設定します。

- ①TRAP送信機能を「有効」にする
- ②送信TRAPコミュニティが「public」に設定されていることを確認する
- ③TRAP送信アドレスにネットワーク監視表示灯 NH型のIPアドレスを入力する。
- ④「設定」を押す。

SNMP設定

コミュニティ名

SNMP機能 (SET/GET)	☒ 有効 ☐ 無効
SETコミュニティ	private
GETコミュニティ	public

受信トラップ

受信トラップコミュニティ	public
--------------	-------------------------------------

トラップ送信

トラップ送信機能	☒ 有効 ☐ 無効] ① 「有効」を選択
送信トラップコミュニティ	public] ② 「public」と入力
トラップ送信回数(1-10 回)	1

トラップ 送信先アドレス

1	192.168.10.2] ③ 管理室にある NHL-3FV2-RYGの IPアドレス:「192.168.10.2」を設定
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

設定

] ④ 「設定」

■ Step3 NBM型メール送信設定を行います。

① セットアップ項目 「システム設定」をクリックします。



- セットアップ項目
 - システム設定
 - ユーザ認証設定
 - 時刻設定
 - SNMP設定
 - メール送信設定
 - メール内容設定
 - RSHコマンド送信設定
 - RSHコマンド受信設定
 - ソケット送信設定
 - ソケット受信設定

「システム設定」をクリック

- 動作設定項目
- 本体操作項目
- 保守機能項目
- 情報参照項目

ログアウト



- セットアップ項目
 - システム設定
 - ユーザ認証設定
 - 時刻設定
 - SNMP設定
 - メール送信設定
 - メール内容設定
 - RSHコマンド送信設定
 - RSHコマンド受信設定
 - ソケット送信設定
 - ソケット受信設定

- 動作設定項目
- 本体操作項目
- 保守機能項目
- 情報参照項目

ログアウト

システム設定	
機器名称	NBM-D88
設置場所	
連絡先	nbm@patlite.jp
ログホストアドレス	
IPアドレス設定方法	☒ 手動で設定する ☐ 自動的に取得する
本体IPアドレス	192.168.10.1
ネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
DNSサーバアドレス	192.168.10.1
ホスト名	nbm.patlite.jp
ドメイン名	
HTTPコマンド制御機能	☒ 有効 ☐ 無効

メールサーバーの設定に合わせて
デフォルトゲートウェイ・DNSサーバーの設定を行います。

設定

- NBМ型メール送信設定を行います。
- ②システム設定 「メール送信設定」をクリックします。

PATLITE

➡ セットアップ項目

- システム設定
- ユーザ認証設定
- 時刻設定
- SNMP設定
- メール送信設定
- メール内容設定
- RSHコマンド送信設定
- RSHコマンド受信設定
- ソケット送信設定
- ソケット受信設定

「メール送信設定」をクリック

- ➡ 動作設定項目
- ➡ 本体操作項目
- ➡ 保守機能項目
- ➡ 情報参照項目

ログアウト

●‘Gmail’を活用した、メール送信設定例

メール送信設定

サーバ設定			
SMTPサーバアドレス		smtp.gmail.com] ①サーバ名 ‘smtp.gmail.com’ 入力	
SMTPポート番号		587] ②ポート番号 ‘587’を入力	
認証方式	● SMTP認証	暗号化接続	○ SSL ● TLS ○ なし] ④ 暗号化 ‘TLS’ 選択
		SMTPアカウント名	g-mailに登録したアカウント入力] ⑤ gmailに登録したアカウント名
		SMTP認証パスワード	g-mailに登録したパスワード入力 もしくは、使用しているアカウント名を入力
		POPサーバアドレス	
	○ POP認証	POPポート番号	110] ⑥ gmailに登録したパスワード
		POPアカウント名	
		POP認証パスワード	
		○ 認証なし	

送信設定		
送信元アドレス	このアドレスでメール送信されてきます。例：NHL3FB1@patlite.ne.jp] ⑦送信元アドレス入力	
送信先アドレス	1	***@gmail.ne.jp] ⑧送信先アドレス入力
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	

※メール送信先は、8件まで設定することが可能です。

設定

] ⑨設定クリック

- メール送信内容を設定する。
- ③システム設定 「メール送信設定」をクリックします。



➡ セットアップ項目

- システム設定
- ユーザ認証設定
- 時刻設定
- SNMP設定
- メール送信設定
- メール内容設定**
- RSHコマンド送信設定
- RSHコマンド受信設定
- ソケット送信設定
- ソケット受信設定

「メール内容設定」をクリック

- ➡ 動作設定項目
- ➡ 本体操作項目
- ➡ 保守機能項目
- ➡ 情報参照項目

ログアウト

●メール送信内容設定例

メール内容設定

題名			
1	設備異常が発生しました。	9	
2		10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	

本文	
1	担当者は至急対応してください。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	

※メール題名、本文はそれぞれ16件まで設定することが可能です。

設定

■Step4 NBM型「デジタル入力設定」を行います。

接点1 'OFF' は、設備動作中として、ネットワーク監視表示灯の '緑' 点灯させる

接点1 'ON' は、設備停止として、ネットワーク監視表示灯の '赤' 点灯 '緑' 消灯させる
設定を行います。

PATLITE

→ セットアップ項目

→ 動作設定項目

→ デジタル入力設定

→ デジタル出力設定

→ トラップ受信設定

→ アプリケーション監視設定

→ Ping監視設定

→ クリアスイッチ設定

→ デジタル入力条件設定

「デジタル入力設定」をクリック

→ 本体操作項目

→ 保守機能項目

→ 情報参照項目

ログアウト

参考

NBM-D88N 背面端子台

デジタル入力 '1' へ接点信号接続

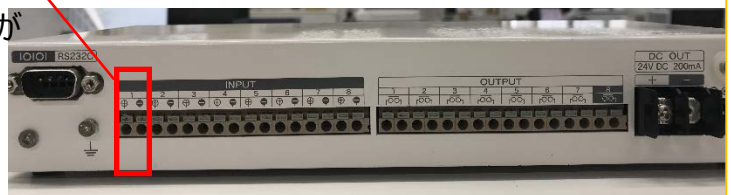
INPUT 1 へ接点信号接続

入力端子台に接続する信号線の電流、電圧が以下の定格値を超えないようにして下さい。

INPUT 1～8 (NPN仕様)

出力ON電流 6mA以下/ポート

OFF時端子電圧 24V



●NBM型 デジタル入力設定画面(ON状態時の動作設定)

- ①入力番号を選択する
- ②「有効」「A接点」「状態」を選択する
- ③メール送信を「有効」「題名」「本文」を選択する
- ④「メール送信先」にチェックを入れる
- ⑤TRAP送信を「有効」にする
- ⑥「設定」を押す

デジタル入力設定

1 2 3 4 5 6 7 8

] ① 「入力番号」を選択

デジタル入力 1	
有効/無効	☒ 有効 ☐ 無効
論理値	☒ A接点 ☐ B接点
信号定義	状態 ▼

] ②「有効」「A接点」「状態」を設定

ON 状態時の動作設定 1				
デジタル出力	1. デジタル出力 1		変化なし ▼	
	2. デジタル出力 2		変化なし ▼	
	3. デジタル出力 3		変化なし ▼	
	4. デジタル出力 4		変化なし ▼	
	5. デジタル出力 5		変化なし ▼	
	6. デジタル出力 6		変化なし ▼	
	7. デジタル出力 7		変化なし ▼	
	8. デジタル出力 8		変化なし ▼	
RSH コマンド送信	☐ 1 未登録	☐ 2 未登録	☐ 3 未登録	☐ 4 未登録
	☐ 5 未登録	☐ 6 未登録	☐ 7 未登録	☐ 8 未登録
ソケット送信	☐ 1 未登録	☐ 2 未登録	☐ 3 未登録	☐ 4 未登録
	☐ 5 未登録	☐ 6 未登録	☐ 7 未登録	☐ 8 未登録
	☐ 9 未登録	☐ 10 未登録	☐ 11 未登録	☐ 12 未登録
	☐ 13 未登録	☐ 14 未登録	☐ 15 未登録	☐ 16 未登録
メール送信	☒ 有効 ☐ 無効		題名 1 A棟の設備で異 ▼	本文 1 担当者は至急対 ▼
メール送信先	☒ 1 nnn@gma	☐ 2 未登録	☐ 3 未登録	☐ 4 未登録
	☐ 5 未登録	☐ 6 未登録	☐ 7 未登録	☐ 8 未登録
トラップ送信	☒ 有効 ☐ 無効			

] ③ 「有効」「題名」「本文」を選択

] ⑤ 「有効」を選択

④ 「メール送信先」にチェック

設定] ⑥ 「設定」

●NBM型 デジタル入力設定画面(OFF状態時の動作設定)

- ①メール送信を「有効」「題名」「本文」を選択する
- ②「メール送信先」にチェックを入れる
- ③TRAP送信を「有効」にする
- ④「設定」を押す

OFF 状態時の動作設定 1				
デジタル出力	1. デジタル出力 1			変化なし ▼
	2. デジタル出力 2			変化なし ▼
	3. デジタル出力 3			変化なし ▼
	4. デジタル出力 4			変化なし ▼
	5. デジタル出力 5			変化なし ▼
	6. デジタル出力 6			変化なし ▼
	7. デジタル出力 7			変化なし ▼
	8. デジタル出力 8			変化なし ▼
RSH コマンド送信	☐ 1 現場異常報知	☐ 2 現場復旧報知	☐ 3 管理異常報知	☐ 4 管理復旧報知
	☐ 5 未登録	☐ 6 未登録	☐ 7 未登録	☐ 8 未登録
ソケット送信	☐ 1 未登録	☐ 2 未登録	☐ 3 未登録	☐ 4 未登録
	☐ 5 未登録	☐ 6 未登録	☐ 7 未登録	☐ 8 未登録
	☐ 9 未登録	☐ 10 未登録	☐ 11 未登録	☐ 12 未登録
	☐ 13 未登録	☐ 14 未登録	☐ 15 未登録	☐ 16 未登録
メール送信	☒ 有効 ☐ 無効 題名 2 ▼ 本文 1 ▼] ①「有効」「題名」「本文」を選択			
メール送信先	☒ 1 nnn@gmail	☐ 2 未登録	☐ 3 未登録	☐ 4 未登録
	☐ 5 未登録	☐ 6 未登録	☐ 7 未登録	☐ 8 未登録
トラップ送信	☒ 有効 ☐ 無効] ③「有効」を選択			

設定] ④「設定」

■ Step4 NH-FV型のWeb設定画面にログインします。



初期IPアドレス:「192.168.10.1」
を入力

初期パスワード「patlite」を入力

■ Step4

NHL-3FV2-RYGのIPアドレスを変更。
セットアップ画面「システム設定」をクリック。



「システム設定」をクリック

①工場出荷時のIPアドレス:192.168.10.1から
IPアドレス:192.168.10.2 へ変更

②「設定」を押す



①「192.168.10.2」設定

②「設定」

■ Step5

NHL-3FV2-RYGの動作設定を行います。
「TRAP受信設定」をクリックします。

ネットワーク監視表示灯 NHシリーズ

Webセットアップツール

「TRAP受信設定」をクリック

- 設備停止時（接点入力‘ON’時）のTRAP受信設定を行います。
- ①TRAP受信設定の番号を選択。
- ②接点信号が入力されるNBM型のIPアドレスを入力。
- ③NBM型から送信されるTRAP番号を入力。今回の場合、NBM型のデジタル入力1が‘ON’になった状態なので「1.3.6.1.4.1.20440.4.4.1.1.1.1」を入力。（詳細は、NBM型取扱説明書 5.MIBを参照）
- ④NH-FV型の点灯パターンを設定。
- ⑤「設定」を押す。

TRAP受信設定

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

】 ① 「入力番号」を選択

受信TRAPグループ設定 1

グループ名称1		
1	TRAP 送信元アドレス	192.168.10.1
	TRAP番号	1.3.6.1.4.1.20440.4.4.1.1.1.1
	variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0
	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
	TRAP 送信元アドレス	
2	TRAP番号	
	variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0
	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
	TRAP 送信元アドレス	
	TRAP番号	
3	variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0
	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
	TRAP 送信元アドレス	
	TRAP番号	
	variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0
4	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
	TRAP 送信元アドレス	
	TRAP番号	
	variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0
	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0

TRAP受信時動作設定 1

赤	点灯
黄	変化なし
緑	消灯
青	変化なし
白	変化なし
音声	変化なし 0 回
音声チャンネル	未選択
メール送信	有効 無効 題名 1.Message 本文 1
メール送信先	1 未登録 2 未登録 3 未登録 4 未登録 5 未登録 6 未登録 7 未登録 8 未登録
TRAP送信	有効 無効
デジタル出力	変化なし

設定

】 ⑤ 「設定」

- 設備停止時（接点入力‘OFF’時）のTRAP受信設定を行います。
- ①TRAP受信設定の番号を選択。
 - ②接点信号が入力されるNBM型のIPアドレスを入力。
 - ③NBM型から送信されるTRAP番号を入力。今回の場合、NBM型のデジタル入力1が‘OFF’になった状態なので「1.3.6.1.4.1.20440.4.4.1.1.2.1」を入力。（詳細は、NBM型取扱説明書5.MIBを参照）
 - ④NH-FV型の点灯パターンを設定。
 - ⑤「設定」を押す。

TRAP受信設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

】①「入力番号」を選択

受信TRAPグループ設定2									
グループ名称2									
1	<table><tr><td>TRAP 送信元アドレス</td><td>192.168.10.1</td></tr><tr><td>TRAP番号</td><td>1.3.6.1.4.1.20440.4.4.1.1.2.1</td></tr><tr><td>variable-bindings1</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr><tr><td>variable-bindings2</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr></table>	TRAP 送信元アドレス	192.168.10.1	TRAP番号	1.3.6.1.4.1.20440.4.4.1.1.2.1	variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
TRAP 送信元アドレス	192.168.10.1								
TRAP番号	1.3.6.1.4.1.20440.4.4.1.1.2.1								
variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0								
variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0								
2	<table><tr><td>TRAP 送信元アドレス</td><td></td></tr><tr><td>TRAP番号</td><td></td></tr><tr><td>variable-bindings1</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr><tr><td>variable-bindings2</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr></table>	TRAP 送信元アドレス		TRAP番号		variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
TRAP 送信元アドレス									
TRAP番号									
variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0								
variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0								
3	<table><tr><td>TRAP 送信元アドレス</td><td></td></tr><tr><td>TRAP番号</td><td></td></tr><tr><td>variable-bindings1</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr><tr><td>variable-bindings2</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr></table>	TRAP 送信元アドレス		TRAP番号		variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
TRAP 送信元アドレス									
TRAP番号									
variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0								
variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0								
4	<table><tr><td>TRAP 送信元アドレス</td><td></td></tr><tr><td>TRAP番号</td><td></td></tr><tr><td>variable-bindings1</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr><tr><td>variable-bindings2</td><td>OID: 型: integer 値: 0</td></tr></table>	TRAP 送信元アドレス		TRAP番号		variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0	variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0
TRAP 送信元アドレス									
TRAP番号									
variable-bindings1	OID: 型: integer 値: 0								
variable-bindings2	OID: 型: integer 値: 0								

】② NBM型のIPアドレスを入力
】③ NBM型から送信されるTRAP番号を入力

TRAP受信時動作設定 2	
赤	消灯
黄	変化なし
緑	点灯
青	変化なし
白	変化なし
音声	変化なし 0 回
音声チャンネル	未選択
メール送信	☐ 有効 ☒ 無効 題名 1.Message 本文 1:
メール送信先	☐ 1 未登録 ☐ 2 未登録 ☐ 3 未登録 ☐ 4 未登録 ☐ 5 未登録 ☐ 6 未登録 ☐ 7 未登録 ☐ 8 未登録
TRAP送信	☐ 有効 ☒ 無効
デジタル出力	変化なし

④ NH-FVの点灯パターンを設定する

設定

】⑤ 設定

設定完了